

## 令和7年度第2回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査）

### 概要

日 時	令和7年12月15日（月）13時00分から16時00分まで		
場 所	大阪府咲洲庁舎25階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）		
案 件	3件		
審査委員	大阪商業大学大学院 地域政策学研究科		
（敬称略）	大阪商業大学 総合経営学部 教授	太田 一樹（会長）	
	エタニティラボ 代表 中小企業診断士	岡崎 永実子	
	大阪公立大学大学院 工学研究科 教授	荻野 博康	
	摂南大学 経営学部 准教授	木下 和紗	

### 【内容審査】

#### ・府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

- 1 立地する事業所で実施する事業内容
  - （1）雇用の拡充
  - （2）生産性・効率性の向上度
- 2 立地する事業所の機能・役割
- 3 立地企業の経営基盤等
  - （1）経営基盤
  - （2）経営改善や人材育成等の取り組み状況
  - （3）事業実績

#### 加点項目

今後に向けた取り組み

### 【1】株式会社NSTによる事業計画に係る府施策との整合性審査

- （1）事業概要
  - 金属製厨房機器製造業の工場の立地
  - 立地場所／敷地面積／延べ面積  
大阪府東大阪市川田／702.00 m<sup>2</sup>／508.67 m<sup>2</sup>
  - 補助対象経費／補助金額  
約206,455千円／20,645千円
- （2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）
- （3）審査結果：補助事業者として適当であると認定
  - 審査方法
    - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）
  - 審査結果
    - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が22点（30点中）であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・効率化は見込めるが、付加価値の向上に努めることが重要。BCP 計画の作成が大切。
- ・経営基盤等や取引先との関係性などが強固であり競争優位性もあることから計画の実現性は高いと思われる。一方、プレゼンの中では今後の事業計画について説明の具体性が不十分な点がやや見受けられた。新工場建設後は借入金が増加しリスクが高くなることから、業績のさらなる向上と安定化に向けて、BCP など様々な面を盛り込んだより一層詳細な事業計画を作り込むことが望ましい。
- ・増収増益を続けており、需要増に伴う適切な新工場建設（工場拡大）と判断できる。
- ・堅実な経営基盤のもと既存事業の集約化・効率化を図る計画であり、生産性向上の効果は一定程度見込まれる。一方、社内における人材の確保・育成の体制や、新事業への参入を含めた経営改善・経営革新に向けた計画についてはまだ十分とはいえず、より具体化していくことが求められる。

【2】イワサキインターナショナル株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

- 印刷・製本・紙工機械製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積  
大阪府東大阪市水走／1651.59 m<sup>2</sup>／2,139.37 m<sup>2</sup>
- 補助対象経費／補助金額  
約 627,044 千円／30,000 千円

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○審査方法

- ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）

○審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**25点（30点中）**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・魅せる工場というコンセプトのもとに、工夫された取組みが予定されている。利益率向上を実現するために付加価値向上策についての工夫もみられる。
- ・国際競争力を保有しており、新工場建設により生産の効率性および顧客への訴求力の向上となり、業績が拡大することが見込まれている。また、新工場では従業員満足度の向上にも取り組むことから雇用拡大につながることを期待され

る。

- ・成長業界であるシール・ラベル印刷機の開発・製造・販売を担い、海外へも積極的に展開しており、今後の成長が期待できる。
- ・本事業は、本社・開発・製造機能を集約した拠点や社員のモチベーションを高める環境の整備、「魅せる工場」の実現による営業改革などを通じて生産性向上と人材確保・育成を一体的に進めるものであり、創業以来、黒字経営とのことで経営基盤の安定性の面でも問題ないとする。一方、今後の成長戦略の具体化や整備後の運用効果の検証については、継続的に取り組むことが求められる。

### 【3】フタバ化学株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

#### (1) 事業概要

- 頭髪用化粧品製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積  
大阪府東大阪市高井田／870.93 m<sup>2</sup>／1,040.00 m<sup>2</sup>
- 補助対象経費／補助金額  
296,083 千円／29,608 千円

#### (2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

#### (3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

##### ○審査方法

- ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）

##### ○審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**25.25点（30点中）**であり、平均評価点が7割以上となった

##### ○委員の主な所見

- ・社内だけでなく取引先のネットワークの増強にも今回の事業が貢献することが期待される。
- ・新工場により現在抱えている問題が解消でき、生産性の向上が見込める。また、工場移転での製造施設や物流面だけでなく、他社との連携や社内でのDX化など多面的に事業の基盤強化に取り組んでいることから、今後の事業成長性が期待できる。さらに、連携先が大阪府内の企業であり大阪府の産業活性化も期待できる。
- ・住宅地から工業地域の移転と共に工場の敷地拡大を計画しており、環境面・安全面などでも改善が見込める。近年、増収増益しており、今後の成長が期待できる。
- ・拠点の移転により、従業員の作業環境や周辺住民の生活環境の改善が期待され

る。また、急激な事業拡大を志向するものではなく、既存事業における生産・立地上のボトルネックを解消し、事業継続性と生産性の着実な向上を図る計画であり、設備強化や DX のより一層の推進、協力会社との協業体制の強化などにより、現行事業の効率化と安定成長が期待できるものとする。